

国の重要文化財「京都府庁旧本館」を後世へ ～旧本館窓枠補修のため、ガバメントクラウドファンディングを実施～

- 京都府では、重要文化財である旧本館を長く保存・活用していくため、8月3日から「京都府庁旧本館」窓枠補修に係るクラウドファンディングの募集を開始します。

■広く皆様から寄附を募集しますので、周知へのご協力をお願いします。

国内外から多くの方が訪れる「京都府庁旧本館」について、来庁者の安全性・快適性の向上と貴重な歴史的建築物の保存・継承を図るため、ガバメントクラウドファンディングを活用して支援を募り、府民に開かれた府庁のシンボルとして次の100年へ引き継ぐ。

1 プロジェクト名

重要文化財「京都府庁旧本館」120年の窓辺を、次の100年へ。
— いま守らなければ、開けられない窓があります —

2 寄附募集期間

令和8年8月3日（月）から令和8年10月31日（土）まで

3 目標金額

1,000万円

4 寄附金の使用用途

旧本館の2階廊下中庭側の窓枠補修に係る経費

- ・窓枠劣化により近年は窓の開閉を禁止しているが、今回の改修により春の観桜祭（3月下旬～4月上旬）の時期等に、窓を開けて中庭の桜を鑑賞したり写真撮影をしたいという来館者の要望に応えることができる。

5 寄附の方法

① 京都府ホームページからの寄附

「重要文化財「京都府庁旧本館」120年の窓辺を、次の100年へ。」

<https://www.pref.kyoto.jp/qhonkan/crowdfunding.html>

② ふるさとチョイス GCF からの寄附

株式会社トラストバンク「ガバメントクラウドファンディング®」を利用

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/5343>

※希望される方は、京都府ホームページに氏名を掲載。

<参考：京都府庁旧本館の窓枠の状況について>

経年劣化により、窓ガラスを固定しているパテや部材等の損傷が進んでおり、開閉することで、窓枠やガラスが破損するおそれもあるため、近年は窓の開閉を禁止している。

<参考：重要文化財「京都府庁旧本館」について>

明治 37 年（1904 年）12 月 20 日竣工のレンガ造の建物。昭和 46 年（1971 年）まで京都府庁の本館として、また、現在も執務室や会議室として使用されている。創建時の姿をとどける現役の官公庁建物としては日本最古であり、平成 16 年（2004 年）には国の重要文化財に指定されている。

現在も一般公開を行っており、結婚式の前撮りやドラマ撮影、その他催し等で、幅広い利用がある。春には中庭の桜を求め、来館者が大勢訪れる。

<参考：ガバメントクラウドファンディング®（GCF®）について>

2013 年 9 月にトラストバンクが提供を開始した、クラウドファンディング型でふるさと納税を募る仕組み。自治体がプロジェクトオーナーとなり、地域課題とその解決策、必要な寄付金額や使い道を明示して発信し、共感を得ることで寄付を集める。寄付者は自らの意思で寄付金の使い道を選択でき、地域課題を知るきっかけとなるとともに、地域への継続的な関心や関係人口の創出につながる。「2019 年度グッドデザイン賞」受賞。

サイト URL： <https://www.furusato-tax.jp/gcf/>

※ガバメントクラウドファンディング®および GCF®は、株式会社トラストバンクの登録商標です。

【本報道発表に関するお問合せ】

総務部府有資産活用課	課長	小林
	参事	久保

TEL 075-414-5445

TEL 075-414-5447

